

会員数 58名 出席者45名 欠席者11名 免除会員5名
欠 席 者 麻田・有家・林・和泉享・和泉清・松山・岸上・大西和・中野昌-会員

前々回出席率 81.8% (3/25)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 岡田 将一郎
幹 事 陶国 栄輝
会報委員長 福田 洋子

お知らせ

- ∴ 4月のプログラム
1 (No.1)-客話
8 (No.2)-クラブフォーラム
15 (No.3)-会員卓話
22 (No.4)-会員卓話

∴ 他RC例会変更

∴ ニコニコBOX;
よいことがありました
眞鍋君 秋山憲夫君

<ニコニコ会計累積/ ¥283,000>

∴ がんばるBOX;
出席できなくて
大山君
吉田委員長クラブフォーラムありがとう
ございました。稲田さんより
ニアピンのご指摘いただきました。
岡田君
クラブフォーラムを終えて
吉田君

<がんばる会計累積/ ¥357,000>

例
会
場
・
事
務
局
丸
亀
市
塩
飽
町
50
-
3
丸
亀
プ
ラ
ザ
ビ
ル
5
F

■会長挨拶

皆さんこんにちは、先月市役所がオープンしましたが、行かれたでしょうか？
今回の市役所の目玉は「マルタス」です。スターボックスも入っていておしゃれな作りとなっています。運営はツタヤにまかしているみたいで、変わった、楽しい本をチョイスしてまして、その本の構成は、東京の代官山にツタヤがあるのですが、そのセンスを感じる楽しい構成となっています。時間も9時過ぎまで空いているようで、丸亀の新しい娯楽施設ができた、そんな感じです。
そして、そんなチョイスのマルタスの中で、なんと幹事の陶国くん監修の「陶国おすすめ本コーナー」があるそうです。幹事なかなかやります。僕も、噂しか聞いていないので、またぜひ訪ねてみようと思います。
そんなオシャレなマルタスですが、全面ガラス張り西向きですので、これから夏を迎えたときに、日差しやら空調はどうなのかな？と思いました。

■理事会報告

- ①新入会員について 百十四丸亀支店長 東原隆啓氏
②今後の例会運営について 県内の他クラブは休会されているクラブもあるが、当クラブは現状維持で例会を継続する。感染状況により休会もあり得る。

■例会事業;クラブフォーラム;吉田環境保全委員長

真紅のバラは人生に活力を与え、固く握りしめた手は暖かさや真実を伝える。心臓は奉仕するための旋律を刻み、行動と挑戦の為に力強く脈打つ。正直な笑いはこだまとなって響き渡り、正直な活動は喜びと化す。ロータリー精神の一部分を抜粋し発表させて頂き、環境保全委員会のお時間となります。

まず、本年度のお城祭りは中止されましたが、近い将来開催されることを切に願います。その際に配布した花の苗木は大事に大きく育てられ、ご家族の心を和ませて、そして癒して頂けるはず。それ以上に苗木を植えるということは小さな活動かもしれませんが、積み重ねていけば地球温暖化の問題がわずかでも解決されると思います。

私達が暮らす地球は経済的に豊かになっている反面、様々な種類の環境問題を抱えており、それらはいずれも緊急性を要する。様々な環境問題があるが、今回は海洋の環境問題についてお話しします。

例えば「ブルーエコノミー」。53kgの数字、これが意味しているのは世界中の人口で割った、1人当たりの年間プラスチック生産量です。そして、そのほとんどが3年以内にゴミとして捨てられ、海洋にも流出しています。それらは魚介類を食べる事でやがて私達の体内に蓄積されます。海洋環境の悪化はプラスチック汚染だけでなく、気候変動に夜海面上昇や生態系の損失、海水温上昇に起因するスーパー台風など私達の生活に大きな影響を与えている。こうした考え方はベルギーの経済学者によって2010年に初めて提唱されました。ブルーエコノミーは地球の7割以上を占める海洋のポテンシャルに焦点を当て海洋資源の保全と持続可能な開発を通じて経済成長につなげる事です。

ここで、日常生活で取り組める環境保全活動を3つご紹介します。

1.省エネ

省エネ機器や高効率機器に変えること、公共交通機関を利用する事、エコドライブを心がける事など

(裏へ続く)



2.ゴミ問題

エコバックの活用はもちろん、「3010運動」の実施も有効です。「3010運動」は宴会などで最初の30分と最後の10分は食事を楽しみ、食べ残しを減らす運動です

3.環境保全活動への参加

地域の清掃活動への参加など、市町村や支援団体が主体となって行う環境保全活動に参加すること

これまで私達は環境を省みずに便利さを追求して来ましたが、これからは人間を含む全ての生き物が生きていける環境を作り、維持していかなければなりません。小さなことから継続的に取り組まなければ美しい地球を次世代に残すことができません。美しい地球や自然に感謝の念を深める事が環境保全の近道と考えます。

最後に、現在の新型コロナウイルスの蔓延も地球から人類への警告の1つだと思います。自分のことばかり考えたり、誰かを犠牲にして儲けたり、資源を使い過ぎて環境を破壊したり、人間がやりたい放題する時代は終わりだということを1人1人が気づき、生き方を選び直して真心と思いやりと温かな心で、地球上の全ての物に接しているかどうかには私達のこれからの運命も掛かっているように感じるということをお伝えして本日のクラブフォーラムを終えます。